



第66号
6月定例会
平成26年7月18日

こんにちは

豊丘村議会 です

夏が来たあ!!

保育園プール

6月定例会の様子	1~2
補正予算の質疑から	3~4
特集「議会と村づくりを語る会」開催される	5~10
12人が一般質問	11~23
委員会の報告	24~25
追跡	26
みんなのページ	27



心待ちにしていた新図書館、7月1日にオープン

一般会計補正予算

今定例会では、開会日に第1号（専決処分）と第2号（案）が上程され、第1号は即決、第2号は予算委員会へ付託され最終日に議決されました。

1号補正は、本年2月の豪雪による農業用パイプハウスの倒壊対策補助金1360万円です。

2号は、補正額1億9130万円、総額で46億677万円とするものです。

主なものは：

◎旧図書館を改修して有効に活用：790万円

25年度末をもって閉館となった旧図書館を改修して、愛ネット北部、ボランティアセンター、消防団詰所、災害備蓄品収納庫として使用します。

◎区及び自治会活動の活性化に350万円

堀越区は獅子の整備、滝川及び小園自治会は集会施設の机・イス購入費への補助です。

◎人口増対策に500万円

定住促進住宅助成金（建築費や用地の取得等への助成）は、当初予算で1千万円でしたが、今後増加が見込まれることから補正増します。

◎保育園児受け入れ対策として90万円

村内3保育園の内、北保育園では近年入園の希望が増え続け、保育室が手狭になってきました。そこで、本格的な増築までの間、プレハブの仮保育室を設置することとなりました。

第2回定例会 国保税、7年連続引上げ

一般会計2億円余を追加補正

なお、新たな園舎の増築は用地確保等の関係から27年度となる見込みです。

◎河野児童クラブ新築費を増額：1575万円

河野児童クラブの新築は、当初予算で4500万円計上してありますが、消費税増税による資材の値上がり、労務単価の引き上げ等から増額するものです。

◎日本型直接支払事業費に426万円増額

農業・農村の多面的機能の維持を図るため、農業生産活動、環境保全事業等へ支援するものです。

◎村道の維持補修工事に600万円

村道の補修工事は、当初予算で5千万円でしたが、今回増額し路肩補修や舗装補修をさらに進めるものです。

◎消防力の強化や防災活動に251万円

消防団活動用ホースの整備と、林里地区の防災器具購入に充てるものです。

◎交流学习センター「ゆめあるて」の周辺整備に969万円

5月上旬より使用開始となった「ゆめあるて」周辺の旧施設解体工事と外構工事費として、当初予算では9千万円でしたが、当初計画していなかった小整備のため増額するものです。

◎予備費に1億2253万円

25年度の繰越金が決算見込みで、1億8千万円増額となることから計上するものです。

平成26年第2回定例会は、6月4日から19日までの16日間の会期で開かれました。

開会日に承認案9件（専決した条例改正2件と25年度補正予算5件及び26年度補正予算1件、損害賠償の額の決定1件）、条例改正案1件、補正予算案4件、人事案件1件等が上程され即決又は委員会付託となりました。

提案された全ての案件は原案通り全会一致で承認、可決となりました。

請願は2件提出され、両件とも全会一致で採択となり、意見書を国会及び政府へ送付しました。

一般質問は、12人の議員が村政全般について質問を行いました。

国保税3.2%引上げ

国民健康保険税の本年度の税率を定める条例改正案が開会日に上程されました。3月議会での当初予算では、1人当たり5.3%引上げの税収見込みでしたが、その後の医療費の推移と被保険者の所得状況から試算した上で、1人当たり平均3.2%の値上げ案が示されました。

本改定案は、総務産建委員会へ付託されましたが、例年通り社会文教委員会との連合審査を行いました。審査の中では、国保税が6年連続で引上げられていることから、医療費見込みをもう少し低く見込めば据え置きが可能ではとの意見、一方基金の約8割、4千万円を取り崩す予算では将来のために引上げは止むを得ないとの意見もあり、最終的には原案が可決され、直後に再開された本会議でも全会一致承認されました。



急ピッチで進む「ゆめあるて」の周辺整備

採択された請願

- 「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願
(詳細25ページ掲載)
請願者 豊丘村学校教職員組合
執行委員長 橋本雅裕
- 国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願
(詳細25ページ掲載)
請願者 豊丘村学校教職員組合
執行委員長 橋本雅裕

国会と政府に「意見書」を送付しました。

補正予算の質疑から 北保育園、未満児増 加で仮設園舎を設置

北保育園、仮設園舎の内容は

未満児の増加に対処する

片桐(義)議員 北保育園の保育室増設の詳細説明を。
子ども課長 未満児の増加に対応するためにプレハブ園舎をウサギ小屋の北側にリースで設置する。面積は約53㎡で、エアコンを設置して年長児が入る予定。
川野議員 未満児の入園状況はどうか。
子ども課長 今年度の申し込みは19名。内、16名が入園し、残り3名は南保育園に入園している。仮設園舎ができれば希望により入園いたたく。
前沢議員 運動会のと



プレハブ園舎が設置される北保育園

きに支障はないか。
子ども課長 トラックは東側に移動するので、支障は少ないと考える。

村長 園舎の増築は、今年度に農地法の手続きを行い、来年度に建設する計画でいる。

河野児童クラブはなぜ増額するのか

材料費・労務費等が上がる

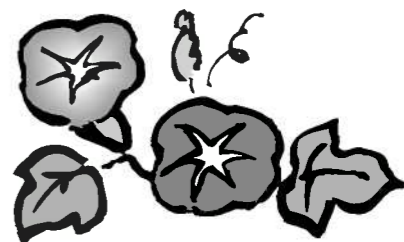
大原議員 河野児童クラブの新築工事が千5百万円増額されているが、理由は何か。
健康福祉課長 この4月以降に材料費・労務費等が引き上げになった。
片桐(秀)議員 それにしても額が多すぎるのではないか。
健康福祉課長 新単価で積算すると約7千万

リフォーム助成金の復活は

今後の様子をみて考えたい

唐澤議員 今回の補正に住宅リフォーム等助成金が計上されていない。当初予算審議でも議論したが、消費税引き上げ後の状況をみて

果、昨年10月以降の仕事が残っていて忙しいとの話が多かった。よって、もう少し様子を見たい。
吉川議員 商工会の役員からも事業復活希望が出ている。会員へのアンケート調査をやったかどうか。
村長 この4月以降、景気は思ったほど落ち込んでいない。この件は、もう少し状況を見ながら考えたい。



同志社大学の地域実践教育とは

大学生の目線で活性化の提言を得る

片桐(秀)議員 同志社大学による「地域おこし実践教育」は、地域が寝ているから起こそうとする上から目線の感じがするが...
総務課長 内容的には大学の教育活動の一環だが、都市や学生の視線からの提言などあり、村づくりの参考となると考える。
井原議員 期間が3日だけだが、村民との触れ合いはあるのか。
総務課長 今後、細かい点は詰めていく。
松下議員 都会の大学生などとの交流は大事なことで、せつかくの機会を有効に生かしていくことが大事。成果が上がるよう期待する。
副村長 期間は短いが事前学習はしっかりとやってくる。今後、メリットがでるよう考えたい。

多面的機能支払制度の詳細説明を

農地管理の共同作業に対し交付

松下議員 多面的機能支払交付金3百万円余の詳細説明を。
産業建設課長 当初予算95万円は、従来からの村内4地区への交付金。今回の補正は、新規に始まる多面的機能支払交付金の村負担分。この制度は農地を対象にしたもので、水

旧図書館に入る団体との協議は十分か

入居予定団体の再協議を行う

井原議員 旧図書館へ結婚相談所の愛ネット北部が移ることについて、相談所長は「悲しい」旨の話があった。事前に建物内の配置や間取りについて十分に協議は行ったか。
総務課長 設計前に協議は行っている。
川野議員 結婚相談所はプライバシーが大事。入口や内部通路はどうなるか。
総務課長 結婚相談所は玄関に近い所に設け

る。詳細は平面図ができてから煮詰めて行く。
唐澤議員 ボランティアアセンタ―は、本来は社協内に作るべきだが現状ではスペースがないためできない。よって、社協に近い位置に配置をすべき。
総務課長 建物西側に非常口があるが、ここを使うのはいかがか。今

後、関係者と再協議を行う。
大原議員 ボランティアアセンタ―も入るといいうが、配食サービスはどうなるか。ここでやると人の出入りが多いので、入口は別途必要ではないか。
総務課長 今後、再協議を行っていく。



いくつかの機関が入る旧図書館



● 天竜川架橋の件では河野区民は、がつかりしている。どんな経過であったのか。結果として宮ヶ瀬橋が優先され、新橋については当面からしない。この問題について議会ではどんな

● 討論がされたのか。それであれば今後どのような村づくりをしていくかの議論がされたのか。また、新橋について調査費が予算化してあるのか確認するべき。さらに新橋が出来た後の村の将来像について検討しているのか。

● りんごっこ公園のトイレ改修について河野区から要望したが、村長の回答は「児童クラブの外トイレを使うように」とのこと。あの一帯は河野区

● あり子育て地帯。村議員もトイレ改修が実現できるような骨をおってほしい。

● 横浜ゴムの地元雇用はどんな状況か。

● 定住者もわずかで雇用も豊丘からは非正規。村のメリットがないのではないかと「橋」と同じになっ

てしまう。

● 議員定数、報酬について、今日は本音で語ってほしい。

● 議員定数、報酬は、議会としての活動を今後どうするか、何をどうやっていくかによって決まってくる。この結果で議員定数や報酬を考えるべき。今までと同じでは削減となってしまう。これが本当の議会改革である。

● 議会の傍聴者が少ないが、何か対策をとっているのか。

● リニア工事は村にとってメリットが無いのでは。

● 獣害防止フェンス設置後の検証はしているのか。

● 土木申請箇所、採択基準はどうなっているのか。不採択となり大変残念。

● 国や県への要請活動については、地元選出議員をもっと活用したらどうか。

● 住所表記で大字（神稲、河野）を省略す

河野会場

(参加人数18人)

堀越会場

(参加人数25人)

● 上水道水源、ダムからの取水計画は今後あるのか。又ダム工事に伴った道路の有効利用の為、又ダム取水が有利と思いが。

● リニア工事で堀越地区でも水枯れが心配、草がなくなるのでは。

● リニア工事は村にとってメリットが無いのでは。

● 有害鳥獣の夜間駆除を可能にしてほしい。

● 村で重機を保有したり又指定業者以外の個人所有の重機使用による除雪対策ができないのか。

● 行政は区へ依存しすぎではないか。(選挙立会、)



特集

初

「議会と村づくりを語る会」開催される

～地域づくりへの夢と課題に時を忘れて～

日時	会場	日時	会場
4月26日(土)	河野区民会館	5月12日(月)	伴野区民会館
4月28日(月)	堀越区民会館	5月14日(水)	豊丘村役場 中会議室
4月30日(水)	林原木門コミュニティセンター	5月15日(木)	林里会所
5月1日(木)	壬生沢区民会館	5月20日(火)	佐原区民会館
5月2日(金)	福島会所		



リニアに関する意見が多く出された壬生沢会場

議会では、議会改革の一環として、各地区へ出向き村民の皆さんと議会の意見交換の場として「議会とむらづくりを語る会」を、4月26日から5月20日までの間、村内9地区9会場で開催しました。出席者は合計176人(内、女性12人)でした。出された意見や要望には、それぞれの地域色の見て取れるものの他、多く出されたものには戸建住宅に関するもの、リニア関連の不安に対するもの、区や自治会の行政負担の問題などがあり、議会に課せられたものも少なくありませんでした。議会には、多くの諸課題解決のため、一層の努力が求められた「語る会」でした。尚、各会場から出された意見・要望は6ページから10ページに掲載してあります。

林原木門会場

(参加人数25人)

- 小学校の統合について。大柏の住宅は子育て世代に適さない。(学校まで遠い)立地条件を考えて建設を。
- 議会のリニア特別委員会の取り組みについて、情報発信や村やJRにものが言え相談できる状況にして欲しい。
- 新しい住宅ばかりに目を向けず、空き家、廃屋の整備を進めて行って欲しい。
- 道の駅構想、村の方で考えているというが、議会でも協議して進めて欲しい。
- 林原公園の整備について、早期着工を進めて欲しい。
- 道路改良は全村見渡し長期的な展望にたつて欲しい。一般質問で理事者の「検



- 討する」という答弁にはきちんと検証をし、その結果も知らせて欲しい。
- 宮ヶ瀬橋が先行と

なつたが天竜川架橋は必要なので実現に向けて頑張つて欲しい。

- 鳥獣対策の柵の負担金一戸あたり300円について、区の残金がなくなるので村で考慮頂きたい。

壬生沢会場

(参加人数15人 内、女性1人)

- リニアの廃土運搬に生活道路を使つてほしくない。JRがキチンとしてくれるよう要望する。
- リニア工事について地元の見解を汲み上げてほしい。強行されてしまう気がする。担当職員が決まつたようなので頑張つて欲しい。
- リニア抗口の住人の方が不安になっている。村としての対策はどうか。対策室で考えてもらいたい。
- 計画が進んで、地元がNOを出した場合でも強行されるのか、後手にならないよう対処してほしい。
- 村の宅地造成、中山間地域の活性化のためにも中山間地を考えてほしい。
- 竹林里山整備にもつ



- と予算を。地区民が出役しないでやれる方法をお願いしたい。
- 道路案内、観光案内の看板が少なすぎる。

- 黒いバスが走っているが評判が悪い。塗りかえられないか。
- 荒廃農地が多くなっている。地目変更をして税金を安くできないか、喬木村ではやっている。

福島会場

(参加人数25人 内、女性5人)

- 福島公園を皆が集える公園としたいので、今後も村の支援を願いたい。
- 宮ヶ瀬橋が先行着手となり悲しい。村、議会はもっと前から対応できなかったのか。
- 赤畑釜沼線沿いの畜産公害は地域の大問題何とかしてほしい。
- 大柏の賃貸住宅は、



- 不便な条件の中にある。料金を安くしても入居方法を考えてよ。
- 賃貸住宅の入居条件の緩和が必要なのは。
- 横浜ゴム豊丘工場の従業員に居住の意向アンケートを実施したかどうか。
- 賃貸住宅候補地選定には、充分検討した上で決めるべき。
- 野田平キャン

プ場の橋の改良を早急にすべき。一番のネックである。事務所の改築等は橋が出来てからでよい。

- 議員定数は、現状でよい。減員すれば良いということ

でもなく、小さな集落の意見が、村に届く様な人数に留めてほしい。

- 北部火葬場の建設地の地盤が悪く工事が難航している。選定ミスではなかったのか。又今後の建設費はどうなるのか。
- 火葬場使用料金はどのうなるのか。
- リニア工事に於ける残土運搬で今後の道路、交通対策はどうなるのか。
- 水源が遠く、調査不可と言われたが、なんとか調査してもらいたい。
- 井土の写真やビデオ等のデータ保管を村が一元的にしてほしい。
- 笛吹市では、JRとの交渉をどうしたのか。
- 笛吹市の想定外の水枯れは、トンネルからどの位離れた所だったのか。

伴野会場

(参加人数22人 内、女性3人)

- 自主防ができ小型消防ポンプ車が配置され、維持管理費が負担となった。村からの補助を増やしてほしい。
- 区長がかかわる村の委員会や審議会等が多過ぎる。数を減らすべきである。
- 委員会の設置をする時、議員の役割を多くすれば、委員会を作らなくてよいのではないか。
- 6次産業化の道の駅構想は、潤沢な資金が来て箱物を作ることだろうが、後の運営が懸念される。
- 交流学習センターの土足での利用には反対の意見が出ている。また、図書館の土足はよくない。本のためにもよくない。村に一考を求める。

● 獅子バスの評判はよくない。子供は逃げるとし、街宣車の様だという人もあり、デメリットが多い。

- 学校給食センターの建設に「4億円もかけて良いのか。」と疑問を呈する声があるので、慎重に考えてほしい。
- 負担金や役員の出労など区の負担が増えている。又、区長の印鑑がないと、行政関連のものが回らない。村は区に負担をかけ過ぎではないか。
- 村民の意見が直接届く村政懇談会を復活してほしい。



- 戸建住宅に関しては、横浜ゴム社員を目的としてきたのであるから、移住社員と横浜ゴムに対し、強く働きかけるべきだ。
- 少子化、若年女性、高齢者の就労対策など長期的政策を望む。

- 河野の児童クラブ、北小学校の空き教室の利用は検討されたか。

田村会場

(参加人数16人 内、女性1人)

- 議員の皆さんには声なき声を拾ってほしい。
- 以前の村政懇談会を開催してほしい。
- 村営賃貸住宅が建設されたが入居される対策は。
- 議員で視察を行って、いるが具体的取り組みに生かしているか。
- 地域おこし協力隊は、どういう形で農家の手伝いに行っているのか。
- 一般質問は高い評価をしている。
- 横浜ゴムが来るという事で住宅は建てたが地元の実業者の人たちからはメリットが無いと聞いた。
- 村はもっと子育て支援、老人への支援等に力を注いでほしい。
- この様な会を開く際もつと身近な場所



- 出かけてきてほしい。
- 納税の夜間窓口の対応の必要性を村はどう思っているのか。
- 自治会長の仕事を増やさないように。
- 村営住宅が建設された。横浜ゴムを見据

- これまで賃貸住宅が建てられて来ているが採算はとれているのか。
- 長沢地籍、上水道工事が行なわれたが、場所によって歪みのできている所がある。

林里会場

(参加人数13人)

- 上井、大井の土木申請を毎年やっているが不採択となっている。村、議会でもしっかりやってほしい。
- 2040年に豊丘村は20代から30代の女性が半減すると報道で知った。議会として意見はあるか。
- 戸建ての住宅の入居状況はどうなっているのか。
- 宅造はどの位で売り出すのか。近隣と比べて高くないようにしてほしい。空屋の活用も必要。
- 村道佐原線の改良工事に伴って山側の木が大量に切られ、崩れが心配だ。放置しておく危険だ。
- アイパット等の通信機器で子どもたちのいじめ問題は村にはないのか。



- 街灯の電気料の負担割合について軽減を村へ要望してほしい。
- 中学のバス停の所の水路について大雨の時すごい水がくる。早急に対応してほしい。
- 給食センターの改築工事に伴い児童クラブへの迎えの車が心配。

- 北部火葬場にベットの焼却の要望は出ていないか。又、ベットの埋葬の場所も火葬場の所にほしい。
- 歳入を増やす方法を考えてほしい。
- 大雪の時、上段地域の除雪の業者委託については早めにお願

配。保護者に注意の周知を望む。跡地を保護者の駐車場にしてほしい。

佐原会場

(参加人数17人 内、女性1人)

- 今リニアはどの様に動いているか情報が全く入らない、実態はどの様か。
- 佐原地区は自主財源

- が乏しく、地区の事業運営や生きるための地域づくり、活性化を図るためにも、恒久的な交付金のよ



- うな制度を設けてほしい。地域コミュニティを維持していただけるような制度の構築を要望する。
- 自主防災設備の維持、道路管理、公民館運営、除雪、お祭り、運動会など区民の苦労も多い。1戸1万円の制度では苦しい。
- 個々の補助金より全体で1000〜150万円の補助であれば、地区への配分もできる。このような制度を考えてほしい。
- 村民グラウンドの駐車場の件はどうなったか、車で行けるよう増設を要望する。
- 佐原線の2車線工事の完成はいつか。
- 「ゆめあるて」、土足で入るのはもったいない。
- 女関マッドで泥やほこりがとれるようにすれば土足でもよいかと思う。

「語る会」総括し、村へ提出

「語る会」9会場で行われた意見の中には、村への意見や要望も多くあったことから、議会改革検討委員会で整理の上、5月26日に正副議長において村へ報告書を提出しました。(5P写真参照)

各会場別に集約した106項目(重複あり)を14ページに整理し、主要な課題について議長が村長に口頭で説明しました。主なものは

松川町の宮ヶ瀬橋より着工が遅れることへの対策の遅れや今後の取組みの強化を求める意見

- ①リニア中央新幹線工事に係ること：
 - 情報の開示、水枯れ、残土運搬等に対する住民不安への村の対応
- ②村と区との関係：
 - 村の行政事務を区へ委託することが多すぎるとの指摘や、財政面での支援強化を求める要望等
- ③天童川新橋問題

- ④住宅問題：
 - 25年度に建設した村営住宅への入居対策
- ⑤村政懇談のあり方
 - 地区を主体とした以前の懇談会の復活を求める要望

これらの意見については、村が各課で検討しそれぞれの区へ文書で回答することとなっています。議会では住民懇談会を今後も定期的に継続



地域発元気づくり支援金事業をどう進めたか

答 事務手続き上の不備があった

吉川明博議員



質問 だんQくんラッピングバスについて、長野県への補助金等交付規則に沿う要望の策定・提出、内定後の支援金交付申請、事業実施、変更承認申請など、どのように進めたか。

総務課長 事業費は、(1)交付申請122万6500円(支援金81万7000円補助率2/3)

(2)精算102万4275円(支援金相当額68万2000円)

経過は、当初ラッピングバスはだんQくんと考えていたが、全国版としてだんQくんは住民の目に止まるようになったことで、もう一ひねり計画を練りたい、デザインを獅子バスにと市内のプロジェクト委員が練り直しをして行った。

本来、事業申請の変更等、県への協議をするが、その協議がうまく進まず、獅子バスと

いうことで行った。最終的に県と協議をした。審査の結果ラッピングにだんQくんの表示が、獅子バスには何も付いていないので、申請を遠慮、辞退してこの事業は補助申請を廃止した。

質問 補助金が出ず一般財源から拠出され行政の事務的な対応の大きな間違いであること指摘する。

もう一つ、事業の説明欄に村のイメージキャラクターである、だんQくんを使い、村内小中生がデザインしたラッピングをとりながら、村(役場)のプロジェクトでやるということはこの場合は県に対しての背信行為と思う。考えを問う。

村長 非常に稚拙な間違いだった。



ラッピングバス(獅子バス)

た。村民の皆様を愚弄したのではなく、良い補助金を取って村のためにの気持だったのが、村の単独の予算になってしまつて、大変申し訳なかったという事を感じている、今後、こういうことのないように引き締めてきりつとやっていく。

大変申し訳ございませんでした。(詫びをされた、敬意を表す)

質問 簡易水道の上水道化の3年間の計画が始まり、調査段階に入る前の、準備段階と承知している。審議会の審議は始まっているか。

環境課長 簡易水道は説明をし検討をいただいている。下水道は委員会を開催していない。

質問 3月議会の予算特別委員会にて、豊丘村の簡易水道は26年度から3年計画で上水道に移行するので、この時期に下水道料金に従量制にすべきではないか。と私は意見を述べた。村長は、「基本的には従量制と考えているので、検討したい」と言われた。調査したところ全県で10団体が人数割をしている。豊丘村の料金は他に比べて60%くらいであり安い下水道だ。

従量制にすると初期工事に莫大な費用負担が村民に発生する、また半永久的にメーターの検針・メンテナンスの費用が続き、従量制に疑問を感じ始めている。研究を進める中で慎重さと英断を望む。

結論を持つには村民への十分な説明を望む。

村長 一般家庭と企業のことを勘案し研究する。



7番 片桐 眞理子 議員 (18ページ)
・高齢者を支える取組みについて
・人口減少対策について

8番 原 健治 議員 (19ページ)
・農業改革の提言について
・区と村行政について
・地方自治について

9番 前沢 光昭 議員 (20ページ)
・難聴者支援について
・住民自治の進め方について

10番 唐澤 啓六 議員 (21ページ)
・政府の農政改革について
・第6期介護保険事業計画について

11番 片桐 義憲 議員 (22ページ)
・各区への交付金制度の見直し、充実について
・交付税加算制度拡充について

12番 松下 亨 議員 (23ページ)
・6次産業化事業について
・道路占用料について

1番 吉川 明博 議員 (12ページ)
・地域発元気づくり支援金について
・下水道料金について
・リニア対策室について

2番 川野 孝子 議員 (13ページ)
・架橋の今後の取組みについて
・健康診断の新基準について

3番 大原 千賀子 議員 (14ページ)
・河野児童クラブ、給食センターについて
・獅子バスについて

4番 井原 康明 議員 (15ページ)
・新図書館西側広場の利用と管理について
・交流学习センター土足使用について
・職員の意識改善について
・地区からの要望について

5番 片桐 秀人 議員 (16ページ)
・役場と「ゆめあるて」の連絡通路の設置を(提案)
・リニアによる水枯れ調査について
・下水道の従量制導入について

6番 酒井 浩文 議員 (17ページ)
・健康施策の検証と今後の展開について
・ネット依存の現状と対策について



児童クラブの場所変更理由と構想は

答 JAの都合により土蔵跡へ変更

大原千賀子議員



質問 河野児童クラブは、当初支所の南側と聞いていたが、今回の予算説明では、県道下の東側に建てるとなったが、変更理由は何か。当初予算で4725万円、補正予算で1575万円と総額6300万円となるが、構想があつて予算を盛ると思うが、議会には提示されていないので、建物のイメージが湧かない、早めの提示はできなかったのか。河野区からクラブの外にトイレの要望が出ていたが、予算に入っているか。

健康福祉課長 建設場所の変更は、JAから蔵を壊すので、そこへと提案された。建物には神稲児童クラブのイメージでミニ体育館的なプレイルームも作る。予算の伸びは、資材、労務費などの高騰による。完成は来年1月頃予定。りんご公園のトイレを改築

答 事務方の手続き不備

質問 3月議会で私の質問に、片内のプロジェクトで、だんQくんは知れ渡ったから、村内の獅子にして、県の支援金で作ったと報告があった。3月末の全員協議会では、支援金は賈えず村費との報告。バスは2月から走っていたので、3月議会に

答 事務方の手続き不備

質問 3月議会で私の質問に、片内のプロジェクトで、だんQくんは知れ渡ったから、村内の獅子にして、県の支援金で作ったと報告があった。3月末の全員協議会では、支援金は賈えず村費との報告。バスは2月から走っていたので、3月議会に



河野児童クラブ建設予定地（県道下）

新橋架橋 今後の取り組みは

答 宮ヶ瀬橋完成後、すみやかな着工を信じる

川野孝子議員



質問 宮ヶ瀬橋着工が決まった事について下伊那北部道路問題検討委員会委員でもある課長の意見は。

産業建設課長 豊丘村の新橋について河床の変動が非常に激しいと聞く中で、河川占用許可が取れても実際の工事着工までに3〜5年かかることを覚悟した。宮ヶ瀬橋の架け替えを先に進めてもらうことが、やむを得ないものと考えた。

質問 河川占用許可を取るのに3年はかかると言われているが本当に橋は架かるのか。

村長 今後の活動が非常に重要になってくる。宮ヶ瀬橋が完成する前にこちらの調査が完了してすぐ橋が架かる状況を信じている。

質問 平成9年から3ヶ町村で架橋建設推進期成同盟会を立ち上げ運動をしてきた。今後この期成同盟会の取



架橋が期待される建設予定地

り組みの方向性についてはどう考えるか。

村長 松川町の深津町長に対して今度は次の豊丘高森の新橋についても一緒に応援していただきたい旨の申し入れはしている。北部一丸となって向かってい

きたいと考えている。

質問 県への陳情等に横浜ゴム、JAみなみ信州の皆さんにも声をかけをし一緒にやっていく思いはあるか。

村長 民間からの声を一緒に県へ届けることが何より大事と考える。



今日の血圧どうかな？

健康診断の新基準への対応は

答 厚労省の基準で行う

質問 この4月、日本人間ドック学会等が健康診断の新基準を公表した。人間ドックを受けた150万人の中から無作為に1万2000人のデータを基にして、健康とされる人たちの基準を公表したものであるが、この数値に対して誤解や混乱を招いている事はないか。

健康福祉課長 豊丘村としても厚労省の定められた保健指導判定値、受診勧奨値で行っていく。人間ドック学会が発表した基準についても、持病がある人等、基準範囲内であってもかかりつけ医師や主治医とよく相談される必要があると考える。

リニアによる水枯れ対応は

答 回復へのお手伝いをする

片桐秀人議員



福島的生活と密着している湧水

質問 福島地域は多くの湧水があり、現在も生活に農業に利用している。リニアのトンネルで湧水が枯れる心配がある。村はどのような対応を考えているか。

村長 水枯れが生じた場合は、回復へのお手伝いをするのが行政の仕事と想っている。
質問 個人でJＲと交渉するのは難しさがある。代理人として交渉

質問 豊丘村の下水道は近隣町村より早く設置したので、修理に金がかかるようになってきている。今後どうなっていくか見通しは。
環境課長 長寿命化工事で6億円程度と見ている。

下水道に従量制を 答 下水道条例改正を研究したい

質問 補助率等の見込

質問 施設管理費は使用料収入を上回っている。近隣町村は6く7割である。料金も下水道メーターで算出する従量制をとっている。豊丘村は人員割で、一般家庭より工商业者が有利で不透明な点が多い。
条例 を改正して、立入り権限や地下水にメーター取付けをすべしと考えるが。
村長 来年度の当初予算に向けて、下水道条例の改正から、いろいろなことを研究して行きたい。

してくれればと理解してよいか。
村長 ケースバイケースだが充分あり得る。
質問 JＲは即対応するとしているが、水利権等難しい問題がある。トンネル内の水をポンプアップして、水源に供給することが最善策と考えるので提案しておきたい。
村長 その時は専門家がいますので、相談して一刻も早く復帰させることが大事と思う。



林里の下水処理施設

新図書館下階と広場の利用は

答 資料倉庫のほか、駐車場に利用

井原康明議員



新図書館駐車場奥のスペース

質問 新図書館の下階部や西側の広場の利用目的は何か。
教育長 図書館の閉架書庫・資料館の収蔵庫・リサイクルステーション・駐車場・非常用発電装置などの場所として使用をする。
質問 駐車場については、何台位の予定と白線引きはするのか。
教育長 約10台位とし、線引きも行う。

質問 この場所は周囲所であり、一部の少年などの溜まり場となる恐れがあるため、車止めのチェーンや侵入防止のフェンスの設置が必要ではないか。
教育長 非常に心配している事であり、床下空きスペースには、仕切か、フェンスの設置を考えている。
質問 図書館北門の外水道の利用目的や排水溝の設置は。
教育委員会事務局長 散水用・リサイクルス

テーション関連の利用で、外構工事で配水管につなぐ。
質問 交流学习センターの土足利用はなぜか。
教育長 障がい者の方への配慮から。
要望 配慮は理解できているが、利用頻度で考えれば、基本は土足禁止で、障がいのある方には土足利用でよいと思う、再度検討願いたい。

職員はなぜ目が届かないのか 答 報告・相談などはつきりさせて行く

質問 村長の職員教育の一環に報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）となるものがあり、誓いの言葉の中にも、村民に最大の満足を、役場に対し深い愛情を、などがあるが、庁舎内の備品で、時計の針が無い。時間遅れの時計がある、保健センターの2階入口のマットはボロボロであるなど「報・連・相」が機能していないのでは。
村長 これについては

総務課の管理であり直す予定の物もあつたと思うが、今後は報告・相談などはつきりさせて行く。
質問 自らつくる地域づくりや、コミュニティ事業の助成金とは違う意味合いの、その地域が存続して行くため自由に使える交付金制度の設立が必要では。
村長 自治会の自治を尊重しながら考えても良いと思う。



保健センター2階入口の廊下

オリジナル手帳の取り組みは

答 広域での作成が望ましい



片桐真理子議員

質問 世界でも例のない高齢社会に突入していく中、高齢者を支える取り組みが必要である。

オリジナル手帳を作成し適切なケアにつなげている自治体がある。

オリジナル手帳は要介護者や家族、医師、ケアマネジャーや介護を提供する事業者が、情報を共有するための手帳のことで、受診記録や介護状況等を記入するものである。

当事者の正確な状況の把握ができ、特に認知症患者の場合に役立つ。この手帳の活用についての考えは。

健康福祉課長 県内では富士見町で取り組んでいる。

飯田下伊那地区においては、医療介護の関係者による地域包括支援センター連絡協議会が創設される予定なので、そこを中心として

共通課題を検討していく。

情報を共有する連携ノートについては、広域で作成していくのが望ましい。

質問 介護を必要とする人が介護中であることを周囲に理解してもらうため、首から下げた使う介護マークの普及についての対応は。

健康福祉課長 介護マークは県内全市町村にポスターと介護中を示す介護マークが配布され現在五枚を貸し出ししている。今後も継続的に周知し、介護マークへの理解や利用促進を図っていく。

介護マークの普及は 答 利用促進を図る

質問 介護を必要とする認知症患者が急増する中であるが、患者や家族への支援体制は十分とは言えない。高齢者の訪問開始時にチェックシートを活用し、早期対応に努めていただけたらと思うがどう考えるか。

このマークは「介護マーク」です!

このマークを見かけたら温かく見守ってください

認知症の方や介護が必要な方がいることがわかりにくい。周囲に知らせることで見守ってほしい。このマークが、見守るきっかけになる。介護が必要な方、介護者、地域住民のみなさんに知ってもらいたい。

配布場所

介護する人・される人にやさしい社会を。



健康福祉課長 チェックシートでの確認は行っていないが、職員の聞きとり、地域からの情報等で早めの把握が可能である。認知症の正しい知識、人材育成にも努めていく。

質問 人口減少により自治体運営が行き詰るとの試算が発表されているが見解は。

村長 田舎の魅力を発信し、若い人達に住みやすい場所を提供していく。人口増につながるためのインフラ整備も必要と思う。

健康施策の進捗状況と成果は

答 概ね順調に成果が表れている



酒井浩文議員

質問 25年4月、国民の健康寿命延伸を目的とした「健康日本21」第2次計画がスタートし、併せて豊丘村の「健康とよおか21」も策定された。超高齢化社会が進む中、健康寿命を延ばすことは重要な課題である。

健康診断受診率の状況は。

健康福祉課長 平成20年度40.4%、21年度51.9%、22年度48.8%、23年度57.8%、24年度62.4%と、目標値の65%に年々近づいているが、若い世代の受診者が少ないという実態がある。

質問 2次計画では「ロコモティブシンドローム(運動器の障害)により移動能力に低下をきたし、要支援・要介護の状態になる危険性のある身体の状態」の発症・重症化する前の早期発見・対策を促している。現在ロコモ

は予備群を含め、40歳以上の5人中4人が該当するとされている。ロコモ対策と介護予防事業の進捗状況と成果は。

健康福祉課長 地域包括支援センターを中心に、リハビリ体操教室や、地域ミニデイサービスを実施し成果を上げている。

外出の機会を提供する「おいでなんしょ会」や自主的な「サロン」も年々参加者が増加し、重症化率の低減や、介護給付費の減少などの成果が表れている。

質問 社会環境の整備と健康推進員制度の状況は。

健康福祉課長 各自治会から選出していただき、5月までに村内25の自治会で健康学習会を開催した。前向きな意見もあり、今後も積極的に取り組みたい。健康推進員制度は人的な社会環境の整備と考

えている。

質問 村の子どもたちの健康状態は。

子ども課長 外遊びや運動が減り、血液検査で脂質異常や高血糖を示す子どもも見受けられ、生活リズム改善等、保護者と共に改善をしている。

質問 4月に発足した「子ども課」と「健康福祉課」の連携は。学校や地域との連携は。

子ども課長 乳幼児健診に子育て相談員が参加するなど、日常的な連携ができています。生活リズム改善運動は、教育委員会を中心に、保健師、子育て支援員、保育園、小中学校、PTAが連携して展開している。

教育長 うまく歩み始めている。特に生活リズム改善運動は、24年度に文部科学大臣表彰を受賞し、テレビ等でも紹介されている。



ネットに依りすぎていませんか？

子どもたちのネット依存の現状と対策は 答 全国と比べ正常である

質問 村内小中学生の所有率と、使用方法の教育的指導は。

教育長 小学生の8割がゲーム機等を所有、2割が携帯電話を所有している。中学生も2割が所持しており、8割が持っているという結果で、たいへん正常である。ネットの危険性等の親に対する啓発や、PTAによる研修会等を毎年開いて指導している。

質問 公共施設の公衆無線LANの接続制限はできないか。

教育委員会事務局長 子どもたちのゲームや通信のたまり場になるのは良くないので、役場は現在、平日夕方6時から翌朝8時30分までと、土日は電源を切っている。交流学习センターも、図書館の休館日は電源を切る予定である。

難聴者に行政支援を

答 もう少し様子を見させてほしい

前沢光昭議員



質問 昨年12月にも同じ質問をした。加齢に伴う方も含め難聴者は多数おり、豊丘村でも多数いることを訴えた。補聴器自体が高価で、障害者手帳を持つている人には補助があるが、

加齢に伴う人への支援も必要。補聴器の音を聞きやすくする『磁気ループ』という音をクリアにする機械の支援を訴えた。12月の答弁では「検討させていたきたい」というも



難聴者用の磁気ループ

村長 使用頻度という点でということ。
再質問 あるのがわかっていれば「こんなによい物があるのか」と使うようになるはず。設置するよう強く要求する。

のだった。その後どのように検討されたか。
健康福祉課長 その後、費用・設置場所について検討した。費用についてはアンブと受信機で約10万円と比較的安価、設置については提案のよう相談室、窓口が考えられる。今はそういう方は大きな声で話す必要がある。場所を移動してもらっている。費用の面ではそんなに変わらないが、使用頻度と費用対効果の面でもう少し様子を見させてほしい。



大胆な農業改革提言とは

答 農業の発展と持続できる仕組みを期待

原 健治議員



農業委員会で阿智村へ視察

質問 政府の規制改革会議があまりにも大胆な農業改革提言を打ち出した。中身は農業委員会、農業生産法人、農業協同組合の三本柱。来年の通常国会に閣連法案を提出するという報道がされている。その中の農業委員会の制度改革に関する提言

内容の説明を。産業建設課長 農業委員会の重点業務としている農地の権利移動に関する許可や、農地転用にかかる意見具申、農地の適正利用の監視、監督に関する措置。委員の選挙、選任方法。事務局体制の整備等の見直しがされ、農業委

質問 日本型直接支払制度法が今年の6月成立した。村内全区で行なわれている作業が、農家だけでなく非農家を含めた、地域という形でとらえることのできる維持管理作業が対象となる制度。全区が取り組めば、地域の活性化をもたらすことになる。多面的支払制度の説明と、制度活用の推進策は。
産業建設課長 農道や水路の法面の草刈り、用排水路の井ざらい等の活動に支援する農地維持支払と、水路や農

委員会の自主性、主体性を強化する観点から、都道府県農業会議と全国農業会議所の廃止。農業委員の選挙制度を廃止し、市町村長が選任。委員数を5名から

地区対象の多面的支払制度とは

答 農村環境の保全支援制度

10名にする。委員報酬は職務の的確な遂行にふさわしいものとする。又、遊休農地に対しては市町村長に職務発動を、農業委員会が促す仕組みをつくる。違反転用の場合は農水大臣、都道府県知事に職権発動を促す仕組みをつくらせられている。いずれにしても農業のよりよい発展と持続できる仕組みを期待したい。



用水池での草刈りの作業

住民自治の進め方は

答 研究していく

質問 豊丘村は区や自治会活動が活発であるが苦勞も多い。財政的に困難な面もある。村からの依頼の仕事も多くその分の経費、負担感も「議会と語る会」で訴えられた。
先日阿智村に研修に行った際、「自由に使える支援金」があり活用している。
①現在、村の支援金はなにかあるか。
②豊丘村と阿智村では歴史的経過も過程も違うので同じものとは言わないが、自由に使える交付金など考えないか。これは山間部で意見が出されていた。
総務課長 村単のみで言うと、中山間地への各戸一万円の中山間地対策交付金と、自らつくる元気づくり交付金などがある。
村長 大事なことなのでしっかりと皆さんと話し合って研究したい。

区への交付金制度の見直しは

答 新たな交付金創設を検討

片桐義憲議員



質問 区や地域の、行政から依頼を受ける実務作業は近年増加している。その内容も多岐にわたり、行政は区へ依存しすぎではないかとの声も多い。

一方、区や地域にあっては人口減と高齢化の中で、財政的負担の増や賦役でまかなわれる地域の整備事業執行に大きな課題を投げかけていると同時に、地域コミュニティの崩壊の危惧も感じている。村の認識と今後の取り組み施策を伺う。

村長 山間部は、非常に苦しい状況の中で、地域をしっかりと守っていただいております。敬意を表している。

また、こういった地域では、危機意識も強く、地域活動もしっかりとやっていたり、敬意を表している。

現行の戸当たり一百万の補助金や、条件付きでない新たな交付金制



議会と語る会 福島会場

度の創設等検討をしている。

また、事業執行について、村と地区の棲み分けについて、村内同じではまずいような、

という感じを持ち、その方法を考えている。提案時にはよろしくお願ひしたい。



区内協働作業

質問 地域経済の活性化で実績を上げた自治体には、交付税が加算される仕組みを来年度から取り入れるというものであるが、なぜ地方自治体が活性化をしたならば新たな行政経費が生まれ交付税対象となるのかまた、ご褒美として交付税を増額する仕組みは大変不適切であると考える、見解を伺う。

総務課長 全国の自治体で実績を上げた自治体には、交付税が加算される仕組みを来年度から取り入れるというものであるが、なぜ地方自治体が活性化をしたならば新たな行政経費が生まれ交付税対象となるのかまた、ご褒美として交付税を増額する仕組みは大変不適切であると考える、見解を伺う。

農業委員会改革の狙いは

答 農委つぶしであり容認できない

唐澤啓六議員



棚田オーナー制度に取り組む農業委員

質問 政府の諮問会議である「規制改革会議 農業ワーキンググループ」はこの程、農業改革に関する意見書を発表した。この中身は農業委員会の公選制の廃止と定数の大幅削減、JA全中の廃止、企業の農地所有の解禁等これまでの農業や農政のあり方を根底から覆すもので、強い批判の声があがっている。

この意見書に対する

農業委員会長の見解を伺う。

農業委員会長 この内容は、現場の現状を無視した意見で、農業委員会の解体を狙っており容認できない。

全国農業委員大会でも撤回の決議をしている。公選制は、選挙という仕組みの中で地域で認め合い、代表制が担保され現場との信頼関係が築けるものである。農業委員はこのこ

とを誇りとし、自信をもって活動している。公選制を維持すべきと思っている。

質問 意見書は、農業委員会の主要な任務の一つである行政への「建議書」についても法律から削除しようとしている。豊丘村農業委員会のこれまでの建議書の中で、農業振興に寄与してきた事例はどうか。また、建議書の廃止についての見解は。

産業建設課長 主な活用事例は、有害鳥獣対策、学校給食への地元農産物の供給、遊休農地解消対策、市田柿ブランド維持対策等がある。

農業委員会長 本年も11月に建議を予定している。

農業委員会の権利である建議をなくすことのないようお願いしたい。



はつらつデイサービス七夕飾りのようす

質問 本年度に策定する第6期介護保険事業計画は、介護関連法が大幅に改定される中で樹立することとなる。以下、4点について伺う。①策定のスケジュールは②委員の公募ワケについて③要支援者の保険外しへの対策は④緊急時の短期入所対策は

健康福祉課長 10月から2月までの間、5回程度の委員会で協議立案し、3月の議会に諮りたい。緊急時の入所対策は、第6期計画の中で施策化できるように検討したい。

村長 公募委員はこれまでと同様2名とした。要支援者の保険外しはまだ確定していないので、今後の流れをみながら検討したいと思っている。

次期介護保険事業計画は 10月より協議に入る

リニア特別委員会

「道の駅」計画は白紙に

答 村の活性化には必要な事業



松下 亨議員

質問 6次産業化事業の一環とする「道の駅」計画が、向こう3年間の実施計画に乗っている。この計画は3月議会に突然に示されたものだが、次の点について質問する。①中核法人設立の現状と村の関わりは②現在あるNPOだいちと加工組合はどうするか③道の駅の建設資金計画は④道の駅事業の収支計画は。産業建設課長 ①現在、2つのNPO法人を中心に検討中、新法



新法人に移行予定のだいち・加工組合

人への村の出資についても今後の検討②組織変更は理事会で合意いただいている。事業は新法人の中で継続していただく③④今後、総括支配人等の新組織で検討いただく。質問 この計画は、責任と熱意をもってやる人材がいらない。収支見通しや村財政へのリスク要因化、村民の合意が得られていないなどの懸念事項がある。ここはいったんゼロに戻して白紙から再検討す

べきと考えるが。村長 ネガティブな意見だ。この計画は難しいが、村の経済や農業・地域の活性化のためには必要な事業と考える。うまくいかんかもしれないが、先を急がず困難を乗り越えて頑張っていきたい。

道路占用料は高すぎるのでは 答 見直し必要論が高まれば改定する

質問 宅地への出入り口として村道の法面(土手)等を使用する場合の占用料の単価が高額になっている。近隣町村の状況は、喬木村・松川町では徴収していない。高森町では豊丘村の約1割の単価になっている。豊丘村は突出して高い。国の単価も改定されたので単価の見直しをやるべきではないか。産業建設課長 近隣村では徴収条例がなかつ

たり、あつても別表がないために徴収していない町村がある。現在のところは見直しをする考えはないが、見直しが必要であるという声が高まれば議会と相談をさせていただきます。

質問 いわゆる赤線(認定外道路)の占用についても単価が高額である。中段地帯の傾斜地の現在使われていない赤線でも、用途が材料置場であれば近隣宅地の固定資産税評価額が適用になる。これらは近接の類似土地の評価額を基準にして決めるべきではないか。また、使われていない赤線の払い下げ単価はどのようにになっているか。産業建設課長 ひとつひとつの事例を吟味して、今後改正が必要であれば考えていきたい。払い下げ単価は公共用地取得標準表を適用し、宅地についてはその7割として若干引き下げている。



道路敷の占用箇所

トンネル工事による水枯れの影響懸念 ……リニア特別委員会の活動報告…… リニア特別委員長 酒井 浩 文

環境影響評価書に対し

環境大臣が国土交通大臣へ意見書を提出

6月5日、石原環境大臣は、JR東海がまとめた環境影響評価書への意見を太田国土交通大臣に提出しました。意見書では変更部分の最小化や適正な排水、発生土量の抑制などの影響を最大限に回避、低減することを指摘し、

月22日までに環境大臣意見を踏まえてまとめ、JR東海に伝えた後、評価書を修正し公告して、環境影響評価の手

続きが終了します。その後JR東海は、着工に向け工事実施計画を国土交通省に申請します。

水枯れの知識収集と 懸念地域を視察



6月24日の委員会では、トンネル建設による水枯れの仕組みや影響について、地質学が専門の理学博士 松島信幸先生の説明と現地視

察を実施しました。既に豊丘村では独自に河川と井戸水の調査を実施していますが、地下の構造や地質、地下水の特徴など、具体的な説明により、福島地区を中心とした水枯れの影響が、現実の問題として強く感じさせられ

る内容でした。過日の議会と語る会でも、特に福島・壬生沢地区では、水枯れについて多数の意見が出され、今後も不安を持つ住民の皆さんに正確な情報提供と対応ができるよう、委員会の在り方を確認しました。

リニア特別委員会からのお知らせ

追跡 ▶ あの件はその後、どうなったの？

以前の一般質問等で「検討する」となっている事柄が、その後、どうなっているか報告します。

質問 北保育園の未満児数が定員超過で入所できない。園舎の増築か仮設園舎を考えないか。

答 弁 増築を考えているが、農地法の手続きが必要のため26年度はできない。よって、超過分については村内の他保育園を利用する方向で保護者と相談する。



元気な「つくし」さん

その後 26年度の補正予算で、仮設園舎をリースして対応することとなる。時期は26年7月以降に設置する予定。

質問 中学校運動部の朝練習は原則行わず、部活動延長の社会体育も廃止するという県教委の「指針」がこの4月より適用された。当村の中学生期のスポーツ活動のありかたはどうするか。

答 弁 県教委の指針を基に、適切に判断する。

その後 現在、県内の多くの中学校や市町村教育委員会では、この指針に沿い部活動の時間や在り方を本年度中に見直そうとする動きがある。

豊丘中学校は、本年度末まで従来どおりの形で実施し、今後実情に応じた地域連携等、来年度に向けた運営上の工夫を検討する計画。



部活動運営の見直しが始まります

委員会だより

総務産建委員会

国の政策に沿い上水道化 — 簡易水道事業 —

当初見込みより期間と事業費が多くなることとが判明。6月定例会で補正予算が可決されたが、事前に本委員会で概要が説明された。

- ①国の方針により平成26年から3年間かけて3カ所の簡易水道（北部・南部・堀越長沢）を統合し上水道事業にします。
- ②膨大な事業費が生ずるが、国策に沿った統合を条件に補助を受けながら行ってきた簡易水道事業であるので、実施せざるを得ない事業であるとして合意をしました。
- ③長期にわたる事業であるので、進捗状況を適時、議会に報告

するよう求めました。
④簡易水道統合事業委託料 概算額：総額1億5千万円

編集委員 吉川明博



簡易水道の水源

社会文教委員会

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願 国の責任による、35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める請願 共に採択する

◎「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願
政府は、教育の質的

財政状況を理由に、これまで次々と国庫負担の対象項目をはずし、一般財源化してきました。費用負担割合も3分の1に引き下げられ、減らされた国庫負担金は一般財源として地方交付税のかたちで配分されています。ところが交付税自体が減らされており、地方財政を圧迫している。また、住んでいる地域によって教育の格差が生じています。

◎国の責任による、35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める請願
文部科学省では、昨年平成29年度までの5年間で、中学校3年まで35人以下学級の推進を内容とする「新たな教職員定数改善計画案」を策定しました。しかし、政府は実施を見送っています。長野県では、平成25年に30人規模学級が中学3年生まで拡大されているが、国の義務教育法の裏付けがないため国の加配等を利用しながら予算のやりくりをしています。

昨年年度は、専科教員が38校で配置出来ず、

県や市町村が独自に教員を配置し、複式学級の解消をしています。このように自治体の財政負担は大きく厳しいものとなっています。基本的には国の責任において学級編成基準を引き下げるのが大切であります。

委員会の審議結果
委員会では請願の主旨を理解し、全員一致で採択。本会議でも全会一致で採択され、意見書を関係行政機関へ提出しました。
また、7月の北部議員研修の議題も討議しました。

編集委員 大原千賀子

みんなの



シリーズ

私がんばっています



菅沼美風
(小園)

全国大会の表彰台 を目指します

私は6月7日に、伊那市陸上競技場で行われた、南信中学校総合体育大会陸上競技中学女子100mで、12秒21のタイムで36年ぶりの県中学生記録を更新することができました。また7月6日に行われた県大会でも12秒05をマークし、更に自己記録を更新し、全国大会に出場することができました。たくさんの方々の声援に応えることができとても嬉しかったです。

陸上を始めたのは小学3年生で、姉が陸上競技をやっていたことがきっかけで、松川陸上クラブに入りました。

中学でも陸上を続けていますが、1年生の夏にケガをしたことがきっかけで、接骨院の先生から教えていただき、同じケガや足に負担のかからないようにフォーム修正しました。それが

らはケガをすることなく練習ができるようになりました。その結果2年生の時に初めて、長野県代表で、横浜の日産スタジアムで行われたジュニアオリンピックに出場させていただくことができました。

その後は、水分補給ができない状況や、足がつるほどの辛い練習もありましたが、冬期練習の成果もあり、今シーズンの大会で結果を残すことができていると思います。

今シーズンの目標は「全国大会とジュニアオリンピックで3位以内に入り表彰台に立つこと」です。これからの大事な大会に備え、ケガに気をつけて目標が達成できるように練習し、今まで支えてきてくださった方に最高の走りを見せられるように頑張りたいと思います。

編集後記

◆リニア新幹線は年内にも着工の運びで、喜ばしい反面、水枯れと大量のトンネル排出土が頭の痛い問題。共に経験のない難題ですが、村民の英知と協調で乗り越えなくてはなりません◆過日開催の議会と村づくりを語る会では、日頃の対話不足を痛感しました。村政への負託を得ている以上、決めたことの説明や意見交換は、議会の責任と再認識した次第です◆本議会、たよりは、11名のモニターさんから厳しくチェックいただいております。編集委員一同、その評価に一喜一憂しながら励んでいます。今後とも愛読の程を。
(松下亨)

発行責任者	久 亨
編集委員会	豊 下 文子 博六
委員長	松 下 井原 川 澤
副委員長	酒 大 吉 唐
委員	員 員 員
議	